

2016年ロードナショナルチーム派遣選考について

平成28年2月1日

ロードナショナルチーム派遣選手は、強化指定選手の中から以下の基準を基に JCF ロード競技部会として選考し、JCF 選手強化委員会・JCF 選手強化本部会の承認により決定する。

2016年ロード世界選手権大会選考基準

<エリート男子ロード>

2016年1月1日より2016年7月25日までの期間の成績により、以下の1から7の順で10名の候補を選考、さらに2016年8月15日の国別参加枠決定次第、代表チーム監督となる担当コーチが参加枠に合わせ、コース特性と戦略に応じたチーム構成を考慮し選考する。

1. 世界選手権ロード、ワールドツアーのワンデー又はステージ総合3位以内の選手
2. ワールドツアーランキング順位の上位者
(該当するレースに参加したプロコンチネンタル所属選手にも順位に応じたポイント換算をする)
3. ヨーロッパツアー1.1・2.1以上のレース3位以内の選手またはステージ優勝者。
4. ヨーロッパツアー1クラス以上のポイントランキング順。
5. グランツール完走者。
6. 2016年7月25日時点での大陸ツアー個人ランキング上位者。
(該当するレースに参加したプロチーム所属者にも順位に応じたポイント換算をする。)
7. ロード部会からの推薦者。

<エリート女子ロード>

2016年8月15日時点でのUCIポイント個人ランキング上位3名並びに2016年全日本選手権ロードレース優勝者から、代表チーム監督となる担当コーチが参加枠に合わせ、コース特性と戦略に応じたチーム構成を考慮し選考する。

<U23ロード>

2016年全日本選手権ロードレース終了後、その時点でのUCIポイント個人ランキング上位8名程度を候補として選考し、その中から2016年8月15日の国別参加枠決定後、強化合宿を参考に代表チーム監督となる担当コーチが参加枠に合わせ、コース特性と戦略に応じたチーム構成を考慮し選考する。

<ジュニア男女ロード>

2016年ネイションズカップ、強化育成合宿、2016年国際大会並びに2016年全日本選手権ロードの成績を参考に、代表チーム監督となる担当コーチが参加枠に合わせ、コース特性と戦略に応じたチーム構成を考慮した案を基にジュニア育成部会で選考する。

<TT>

2016年8月15日の参加枠決定後、2016年全日本選手権TT、他のTT公式大会の記録及び（強化合宿がある場合は）強化合宿を基に、代表チーム監督となる担当コーチがコース特性を考慮し、派遣の有無も含め出場選手を選考する。

2016年世界選手権以外の国際大会選考基準

世界選手権以外の2016年ナショナルチーム派遣については、概ね選考前1年間の成績により、以下の1から5の順で上位者から補欠を含めた人数の候補を選考し、その中から代表チーム監督となる担当コーチが参加枠に合わせ、コース特性と戦略に応じたチーム構成を考慮し起用選手を選考する。

1. 世界選手権ロード、ワールドツアーのワンデー又はステージ総合3位以内の選手。
2. ワールドツアーランキング順位の上位者。

(該当するレースに参加したプロコンチネンタル所属選手にも順位に応じたポイント換算をする)

3. ヨーロッパツアー1.1・2.1以上のレース3位以内の選手またはステージ優勝者。
4. ヨーロッパツアー1クラス以上のポイントランキング順。
5. グランツール完走者。
6. 選考時点での大陸ツアー個人ランキング上位者。

(該当するレースに参加したプロチーム所属者にも順位に応じたポイント換算をする。)

7. 国際大会、国内大会、強化合宿の成績上位者

以上